

サーフテックトランスナショナル(鈴木)の活動内容

ー 欧日間技術協力の橋渡しー

鈴木巧一

(株)サーフテックトランスナショナル代表、
フラウンホーファーFEP日本代表、
一般社団法人光融合技術協会副専務執行理事、
ICCG Secretary

(koichisuzuki@surftech.co.jp)

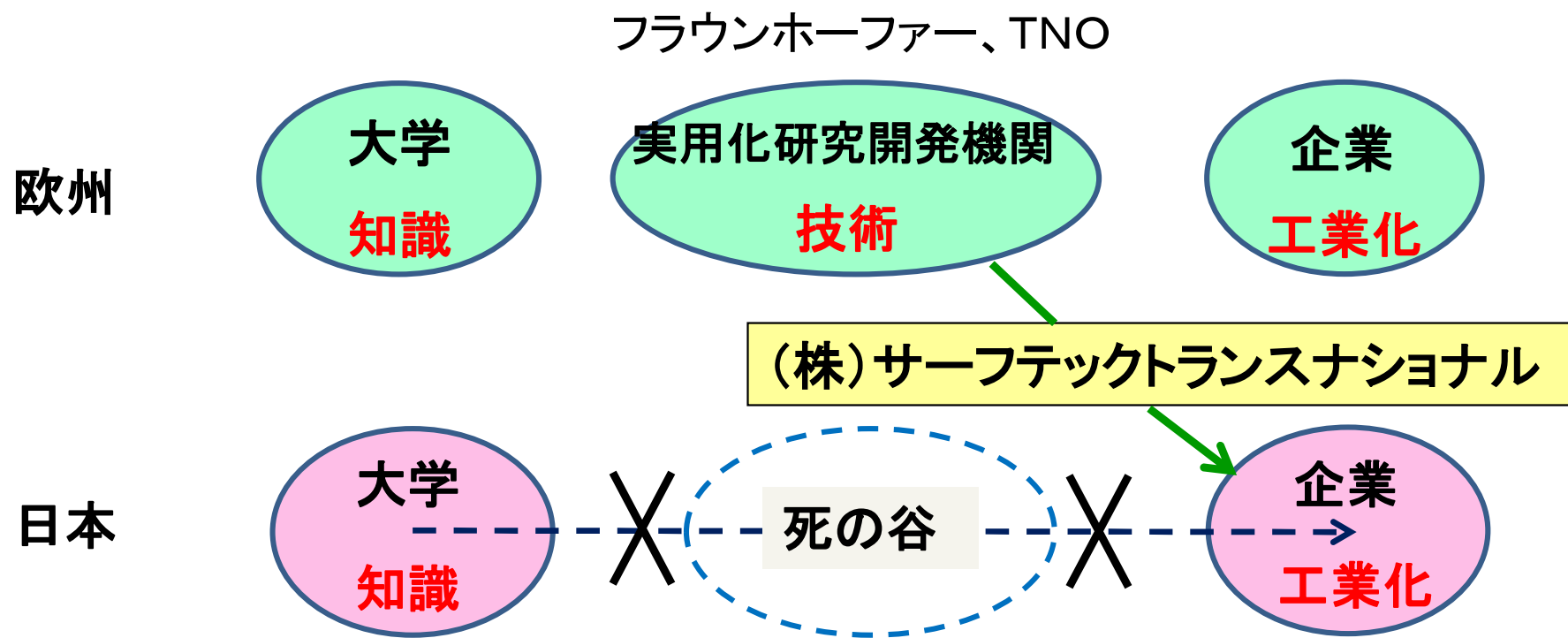
(株)サーフテックトランスナショナル

欧日間の技術移転・技術協力推進事業

代表として

活動の背景

1998年4月～ 表面処理技術関連分野における
1、欧州技術開発機関&関連企業の技術の日本への紹介・導入
2、欧州の技術の実用化の仕組みの日本への紹介・導入



フラウンホーファー、TNOなどの特徴

1. **資金:** 民間資金30～50%、残りが公的資金
2. **使命:** 科学的知識の工業化
3. **課題:** 企業の要請、市場ニーズから選択、優先順位付け
4. **スタッフ:** 工業化に必要な多種の専門集団
5. **保有設備:** 研究開発用に加えて大型のパイロット設備
6. **技術力:** 世界的に認知される独自技術や開発力を保有

フレキシブル有機エレクトロニクス分野における欧日間協力の橋渡し

	<デバイス技術>	<成膜技術>	<評価技術>
研究開発機関	フラウンホーファーFEP (有機EL照明)	フラウンホーファFEP、IST、。。 (成膜装置)	フラウンホーファー IWS (水蒸気透過率測定器)

上記関連企業

(Heliatec)
(有機太陽電池)

AGC-PTS
Meyer Burger (ALD)

Sempa (水蒸気透過率測定器)
Suragus (非接触面積抵抗測定器)

HSM (ゾルゲル法)

一般社団法人
光融合技術協会

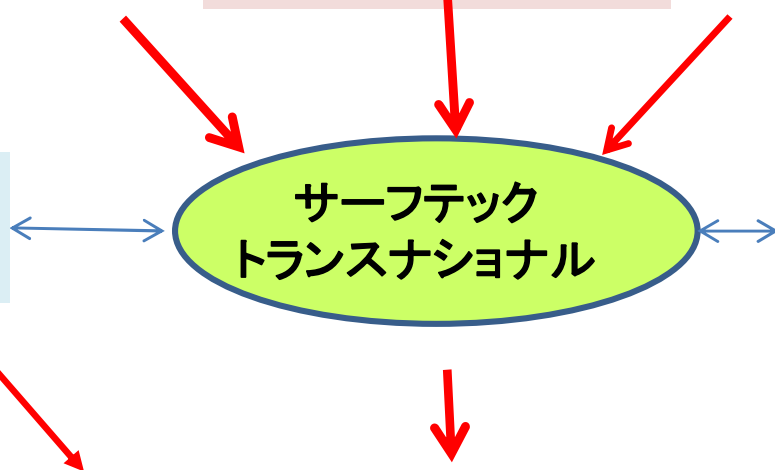
サーフテック
トランスナショナル

マーケティングパートナー
WiredGate (西日本)
JASTEX

エンジニアリングパートナー
(富士アールアンドディー)

展示会、セミナー、企業訪問、ワークショップ。。。>

日本の企業、他



ドイツ、フラウンホーファーFEP

有機エレクトロニクスと電子プラズマ技術の開発

日本代表として

フラウンホーファー FEP

(有機エレクトロニクスと電子・プラズマ技術研究所)

場所: ドイツ、ドレスデン市
スタッフ数: 216
年間予算: 約30億円



- * 真空成膜分野で長い実績、世界トップ
- * 市場の2年先を行く技術の開発
- * 必要なハードウェアを伴った技術の提供

+

- * 有機エレクトロニクスデバイス
(フレキシブル照明、マイクロディスプレイなど)
の製造技術開発





エルベ川と
ドレスデン旧市街



ザクソンスイスと呼ばれるBastei



Basteiの上からエルベ川

ICCG

International Conference on Coatings on Glass & Plastics
ガラスとプラスチックへのコーティング国際会議

1994年の設立時からSecretaryとして



ガラスとプラスチックへのコーティング国際会議ICCG

www.iccg.eu

- * 経緯: 1996年から2年ごとにドイツ、オランダで開催
- * 参加者数: 300~400名 (30か国以上)
- * 特徴: --アカデミックとインダストリーのバランス
--シングルセッション
--人的な交流によるネットワーキング重視



Mini-ICCG

2019年4月4, 5日
青山学院大学

→ 12名の海外講演者
60社、計100名の参加者



ICCG13

2020年3月23日(月)~26日(金)
ドイツ、ブラウンシュバイク市
主催者: フラウンホーファーIST

→ コロナで中止

技術開発の欧日比較

欧州の技術開発

1、中間的技術開発機関の創設、発展

* フラウンホーファー(ドイツ)

コア技術をベースにモノづくり企業を技術開発で支援

→ ドイツの経済的な強み

* TNO(蘭)

問題解決型、アウトソーシング重視

* IMEC(ベルギー)、Holst Centre(蘭)

会員制、基盤技術開発

ベンチャー創出

試作

技術、市場情報の集積

2、最近の傾向

* 高コスト → Shared Research =コスト分担と結果の共有

* 高機能 → Alliance (含むInternational)

* EUプロジェクト → 大型プロジェクト、欧州全体のインフラ充実、人の教育

日本の研究開発

欧州のような中間的技術開発機関が不在のため、

- * ほとんどの企業は依然として単独開発
- * 中小、中堅企業を技術面で支える仕組みが不十分。
- * ベンチャーが成功しない。
- * 補助金による研究成果が実用化に結びついていない。
- * 技術や情報の集積が無い。
- * 補助金で購入した多くの装置が生かされていない。



1. 技術の実用化の仕組み構築

- * 試作・問題解決のための専門特化した永続的な技術開発組織を各地に！
- * 開発コストと成果のシェア → **連携による基盤技術開発**

2. 公的資金で購入した装置による試作・販売を認可・推進

3. 補助金の仕組み変革



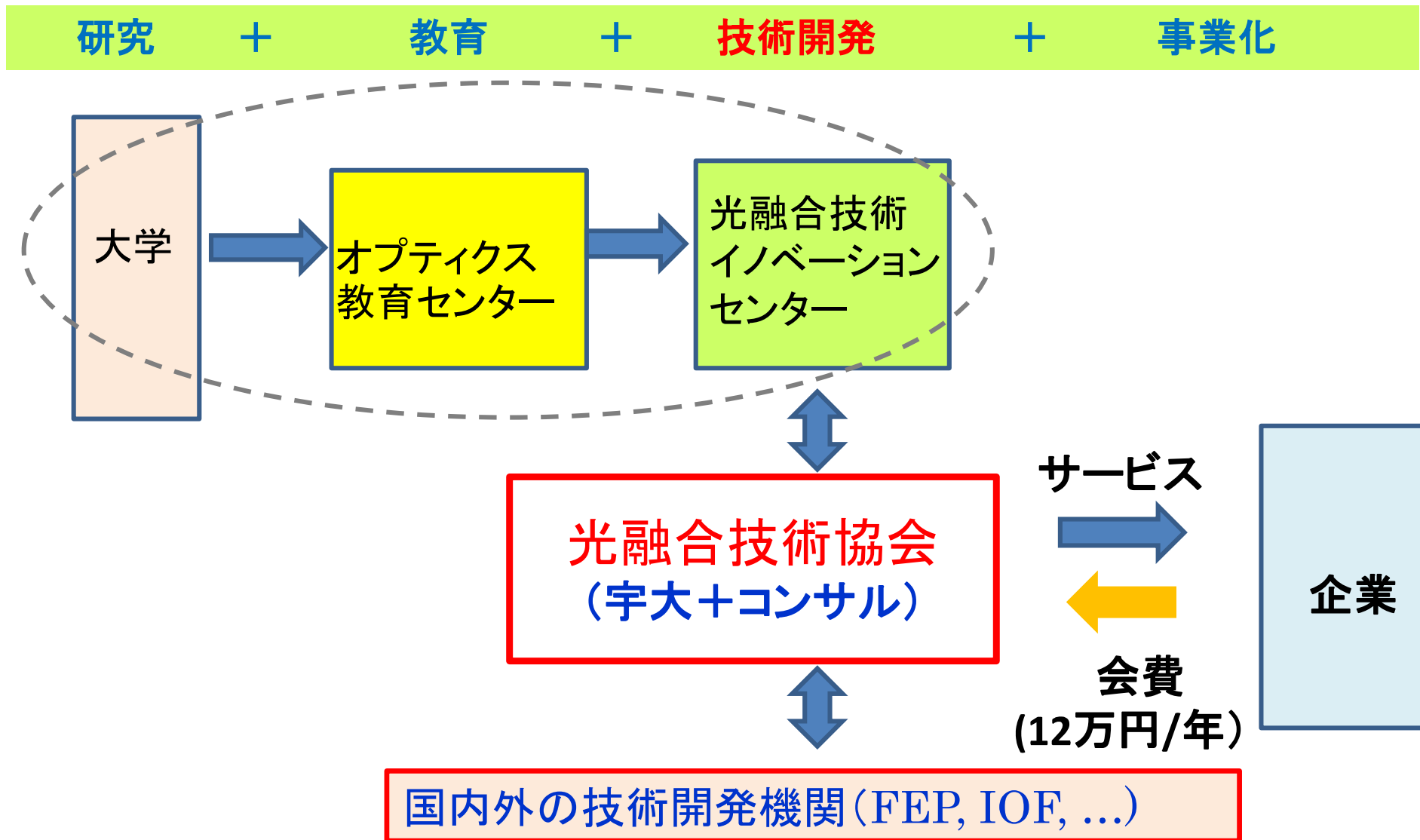
光融合技術協会

一般社団法人光融合技術協会

光関連分野における実用化技術開発センター

副執行理事として

宇都宮大学との連携による一般社団法人光融合技術協会



光融合技術協会のサービス

光関連分野

1. コンソーシアムの活動

国内外の技術・市場情報の提供

2. プログラム(Shared Research)

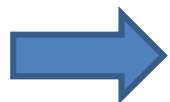
コストと成果の分担で基盤技術開発

(競争ではなく、共同を！！)

3. プロジェクト(コーディネーション)

試作、開発、問題解決

(開発のアウトソーシング)



光関連で困ったら、是非、連絡を！！

イノベーションヒルズ(株)の活動
—取締役として—

写真：吉備プラザ&吉備中央公園

INNOVATION HILLS

吉備高原都市から日本の未来を創る



Innovation Hillsプロジェクト発起人/代表：鈴木 肇

吉備高原都市から日本の未来を創る

子どもたちが夢を叶えられる場所

自由に夢を描ける場所を創る

- 年間50～100事業を創出
- 最先端教育環境で次世代人材育成
- 自由なクリエイターの育成
- 世界レベルのアスリート育成
- 吉備中央町全体を学びの場に
- 「世界」を吉備高原都市へ誘致

プロジェクトの概要

吉備高原都市の旧ニューサイエンス館跡地にて、世界中から企業、研究機関、大学、起業家、フリーランスなどを集めて新規事業を量産する国際オープンイノベーションセンターと、先進的な個別指導にフォーカスした国際的な小中高一貫校「MY ACADEMY」、そして各事業や教育への投資を強力にサポートしていく「イノベーションファンド」から成る「吉備高原都市イノベーションヒルズ」を創設します。当プロジェクトは吉備高原都市に国際的で先進的な全く新しい経済圏と、国際的でクリエイティブな人材が育つ環境を創ります。

環境を活かし日本有数の国際的で先進的な町づくりへ

吉備高原都市は空港が近く、中国地方各地および大阪や東京へもアクセスが良い特性があります。当プロジェクトではその優良な環境に海外企業や海外からの移住者を誘致する仕組みを提供することによって吉備高原都市を日本でも有数の国際的で先進的な町へ成長できるよう貢献していきます。

商業施設環境とアクセスを改善する

国内外から企業を呼び込んで町内人口および町内へのアクセスを増やすことで、新規商業施設誘致促進および公共アクセスの利便性を向上させます。

人材流出を抑え、高度人材を誘致する

次世代の人材の多くが岡山から都心へ流出してしまう現状があります。状況を改善するためには良い教育環境の構築と、子どもたちが求めるようなキャリア就職先をより多く作ることが急務です。当プロジェクトでは、高度人材の育つ教育環境構築と、魅力的な就業先を量産していくことで、人材流出から高度人材誘致を促進させていきます。

